



「ソーシャルワーク講座・第16期」

2016年1月23日(土)・2016年2月7日(日)

2016年1月23日(土) 12:30~14:30

テーマ①

「川崎市中1男子殺害事件、大阪寝屋川市男子女子
殺害事件、岩手県矢巾町中2男子いじめ自殺」
～『ある』の感覚が脆くなっている時代の中で～

芹沢 俊介 (思想家)

1テーマからでも
受講可能です!!

2016年1月23日(土) 14:50~16:50

テーマ②

「光市母子殺害事件等」
～弁護士の立場からみえてくる少年事件と少年～

安田 好弘 (弁護士)

2016年2月7日(日) 12:30~14:30

テーマ③

「子ども・若者を支援する人々へのメッセージ」
～不登校・ひきこもり・少年事件等～

寺出 壽美子 (ソーシャルワーカー)

2016年2月7日(日) 14:50~16:50

テーマ④

「'97少年A事件と『絶歌』から学ぶべきこと」
～酒鬼薔薇聖斗事件～

高岡 健 (児童精神科医)

〈お申し込み方法など〉

受講料：◆一般：1講座3,800円、全4講座12,000円

◆学生割引(25歳未満)及び職場団体割引(5名以上)：1講座1,800円、全4講座6,000円

◆学校団体割引(5名以上)：1講座1,700円、全4講座5,800円

振込先：みずほ銀行 成城支店 普通 8045776 特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会

定員：50名

お申し込み：申込用紙をお持ちでない方は、電話かメール (Email: swkoza@jcsw.jp) にてご連絡ください。申込用紙をお送りいたします。当協会のHP (<http://www.jcsw.jp/>) からダウンロードすることも可能です。郵便、FAX、メール等にて事務局宛にご送付ください。申込書のご送付後、10日以内に受講料のお振込みをお願いいたします。お振込みを事務局にて確認させていただいた時点で、受付完了となります。受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。

スケジュール：1テーマにつき120分(講義90分、休憩10分、質疑応答等20分)

会場：砧総合支所4階 集会室(小田急線「成城学園前」駅下車。徒歩3分)

※諸事情により、講師・内容等が変更になる場合もございます。



ソーシャルワーク講座・第16期

本講座は、興味をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

これから子どもや家族にかかわろうとしている方や、すでに現場で活動されている皆さまのご参加をお待ちしております。

日本子どもソーシャルワーク協会のソーシャルワーク事業

- 「ユースワーカー」派遣：不登校やひきこもり、発達障がい等の子どもに寄り添う訪問事業です。
 - 「ケアワーカー」派遣：養育困難家庭やひとり親家庭での育児・家事のサポートをすることにより、親子を支える訪問事業です。
 - 「びあすぽ」事業：事件を起こした少年に就学・就労・生活の自立等のサポートをすることにより、立ち直りを支える事業です。
- ※ 上記のソーシャルワークの現場をご用意しております。現在も、多くの学生さんや主婦、社会人の方に、ご活躍いただいております。
- 講座後、興味のある方は、ぜひワーカー活動にお申込みください（ワーカー活動は有償です）。

【講師のご紹介】

◇芹沢俊介（思想家）テーマ①

1942年生まれ。上智大学経済学部卒業。文芸・教育・家族など幅広い分野の評論活動を行っている。現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。主な著書に『引きこもるといふ情熱』、『存在論的ひきこもり』、『殺し殺されることの彼方』（雲母書房、高岡健氏との共著）『いじめが終わるとき』（言視舎）『母という暴力』（春秋社）『親殺し』（NTT出版）『孤独から考える秋葉原無差別殺傷事件』（高岡健氏との共著）、『家族という絆が断たれるとき』（批評社）『家族という意志』（岩波書店）『子どものための親子論』、『養育事典』（明石書店）がある。

◇安田好弘（弁護士）テーマ②

1947年生まれ。一橋大学法学部卒業。弁護士（第二東京弁護士会）。死刑廃止 FORUM90 メンバー・アムネスティ会員・日本弁護士連合会死刑執行停止法等実現実行委員会委員。「加害者もまた弱者である」との立場にたち、光市母子殺害事件、オウムサリン事件、新宿西口バス放火事件、山梨幼児誘拐殺人事件、道庁爆破事件、名古屋女子大生誘拐殺人事件など、数々の著名事件において犯人の弁護を担当。人権派弁護士として、一貫して死刑廃止を訴えている。主な著書に、『死刑 生きるという権利』（講談社+α文庫）がある。

◇寺出壽美子（ソーシャルワーカー）テーマ③

1947年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。教員、子どもの本屋店長、学習塾代表、児童養護施設施設長などを経て、現在、NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長。前東邦大学薬学部非常勤講師。虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、少年事件など、多岐にわたる分野で、子どもと親への面接相談や支援に従事している。共著に『家庭訪問型子育て支援』（明石書店）、調査研究報告書に「東京・神奈川・埼玉のひとり親家庭ホームヘルプサービス事業に関する支援状況」「世田谷区における養育困難家庭の実態調査報告書」「ひきこもりという希望」がある。

◇高岡健（児童精神科医）テーマ④

1953年生まれ。岐阜大学医学部卒業。現在、岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター児童精神科部長・発達精神医学研究所長。日本児童青年精神医学会理事。「精神医療」編集委員。自閉症スペクトラムの臨床研究のほか、不登校・ひきこもりの臨床社会的研究、少年事件の精神鑑定を多く手がけている。主な著書に『少年事件 心は裁判でどう扱われるのか』、『精神鑑定とは何か』、『自閉症スペクトラム“ありのまま”の生活-自分らしく楽しく生きるために』（明石書店、小道モコ氏との共著）『発達障害という希望』（雲母書房、石川憲彦氏との共著）『精神現象を読み解くための10章』（批評社）がある。

【会場のご案内】砧総合支所 4階集会室

東京都世田谷区成城 6-2-1

（小田急線「成城学園前」駅下車、中央口から徒歩3分）

お問合せは…

NPO 法人 日本子どもソーシャルワーク協会 事務局

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-29-12
TEL:03-5727-2133 FAX:03-3416-6994

講座に関するお問合せ、お申し込みは、E-mail: swkoza@jcsw.jp まで

その他のお問合せは、E-mail: kodomo-sw@jcsw.jp まで

HP: <http://www.jcsw.jp/>（申込用紙のダウンロードはこちらから）

